

Dr.ひろみの

ハッピー子育てひろば



☆プロフィール☆
鈴木 裕美 (すずき ひろみ)
香川大学医学部 小児科専門医

保護者の皆さん、こんにちは。香川大学の鈴木です。前代未聞の長期ステイホーム、外出がはばかれるゴールデンウィーク。こんな大変な毎日がいつか教科書に載る日もやってきて、歴史になるかと思うと不思議ですね。

さて、前回の、子どもが求める3つのこと ① 愛情「愛してほしい！」トライできましたか？最初は期待した反応がないかもしれませんが、できることを1つずつ、1回ずつ続けてみましょう。子どもの嬉しそうな顔がごほうびです。

今回は2つ目の『関心』です

見てほしい、聞いてほしい、わかってほしい、困っていたら助けてほしい

子どもの毎日はエキサイティングです。小さなことも大事件です。

今日〇〇したよ

泣いたこと

笑ったこと

好きなこと

できたこと

腹が立ったこと

恥ずかしかったこと

びっくりしたこと

子どものことに「関心」を示しましょう。

✧ 子どもの話には新しい発見がいっぱいです。✧

子どもが求める3つのこと

- ① 愛情 「愛してほしい」
- ② 関心 「見てほしい」
- ③ 前向きな注目 「認めてほしい」



「ねえねえ」と話しかけてきたとき、
「これってどうやるの」と質問してきたとき、

1日1回 子どもに
関心を示しましょう

手を止めて、
子どもの顔を(目を)見て、
話を聞いてください。

1~2分でOKです。「おもしろい考えだね」「どうやるのかな」「なるほどね」「どうしてそう思うの?」「もっと詳しく聞かせて」など嬉しい相槌を打ってみよう。

今週のトライ

私たちは忙しいあまり、ついつい「後で…」と言ったり、スマホから顔をあげずに「うんうん」と生返事したりしていませんか。または、子どもが習い事を一生懸命練習してその成果について話す時は喜んで聞くけれど、お気に入りのゲームやYouTubeの話または友達とのトラブルは、「またそんなことして！」という気持ちが顔や声に出て、子どもの「話したい気持ち」に水を差してしまうことはありませんか。

「どうせ興味ないんだろう。話したって仕方ない。」との想いから口数が減ってきます。

子どもの関心ごとに関心を持つ。それがよい親子関係を築きます。「お父(母)さんは私のどんなことにも興味を持ってくれている。」「自分が関心をもっていることは価値があることなんだ。」そんな想いの積み重ねが子どもの自信や自己肯定感を育てていくのです。

